

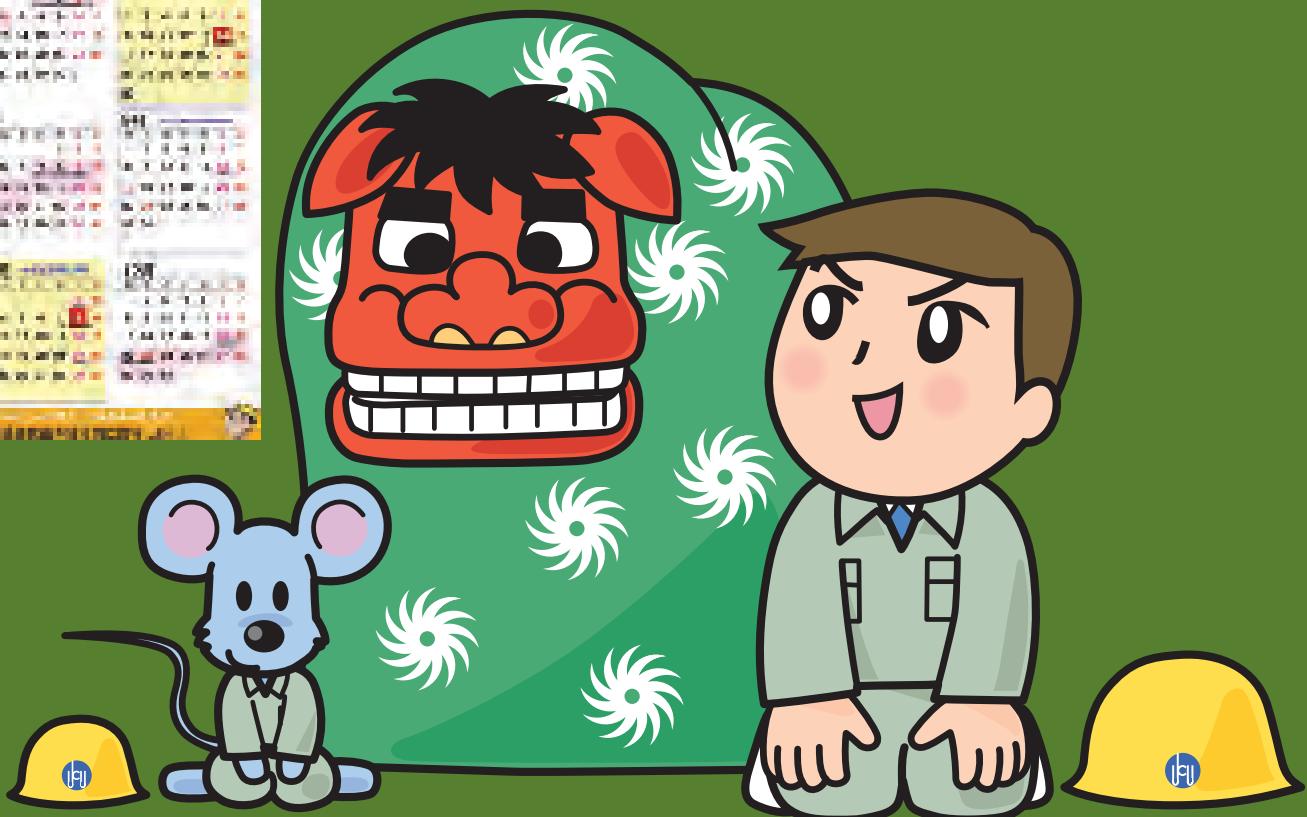
Compass



2008
January Vol 775

日建協

日建協ホームページアドレス
<http://www.nikkenkyo.com/>



キヤッチフレーズ大募集!

●統一土曜閉所運動

●年頭所感

あたり前の事を、あたり前に成す。

●建設産業で働く魅力を届けたい！
●出前講座

●100万人の市民現場見学会
●産業の真の姿を伝えたい！
●産業の魅力向上に向けて！

●未来に伝えたいもの
●心の健康
●特集記事

メンタルヘルス不全を吹き飛ばそう!!

●トピックス

- ◇日建協メンタルヘルスセミナー
- ◇科学技術館ライブショー
- ◇統一土曜閉所運動紹介
- ◇海外の労働組合との交流だより
- ◇建設産労懇第7回総会

●加盟組合交流日誌

- ◇ハザマユニオン
- ◇横河工事労働組合

●東西組合細見
●佐藤工業職員組合

あたり前の事を、 あたり前に成す。



青本議長

個々の事件ベースで考えると、昨年、わが国でおきた主な出来事は実に多様性に満ちていたという印象を受けます。しかしながら、見方を変えると一貫性に乏しく、産業界全般を通じた潮流といったものが比較的少なかったようにも感じられます。“変化”という観点で見るならば、参議院選挙における「自民大敗、民主躍進」は世論の大きなターニングポイントとして位置づける事ができるでしょう。

産業別に見た場合、私たちが生きる建設産業では“潮流”という観点から、いくつかの特色があったと思います。私自身、最も印象付けられたのは「企業のコンプライアンス」でしょう。CSR（企業の社会的責任）、あるいは企業価値向上に向けた取り組みの一環として、コンプライアンスという文字がメディアを通じて毎日のように見受けられ、あたかも各企業のコンプライアンスへの取り組みが建設産業のイメージアップに繋がるかのようにも感じましたが、組合員の皆さんはどう感じられましたか。

『一企業を産業や社会、そして広くは地球規模での生態系の一部として位置づけ、それとの持続的な発展に貢献するため、「経済性」本位だった従来までの企業活動に加えて「環境問題」「社会問題」に対しても自主的に取り組んでいく必要がある』というCSRの本質からすると、「企業のコンプライアンス=法令遵守」は、いささかCSR以前のあたり前の事のようにも思えます。コンプライアンスの徹底はあたり前の事として、むしろ、その他の社会的・環境的な取り組みをアピールしていくならまだしも、「あたり前の事をあたり前に守らせる」という取り組み自体をCSR活動の一つとして位置づけ、社会に対してアピールしていく事が、直接、建設産業のイメージアップに繋がるとは思えません。

しかしながら、今後「豊かな産業」「豊かな社会」を実現する上では、この「あたり前の事を、あたり前に成す」という考え方が、今、私たちに一番求められる事であり、また一番欠けている部分である事も事実です。失いつつある建設産業の信頼、魅力を取り戻す事は一朝一夕に進むものではありませんが、今年も日建協は「産業の魅力とはなにか」を業界内外に問うていきます。業界関係者の全てが「あたり前にすべき事」が何かを自発的に考え、そして成す事が、すなわち建設産業の魅力化の根幹であるという事を訴えていきたいと思います。

産業の魅力とは、「産業で働く人間の魅力」「産業に生きる人間の魅力」であります。建設産業に従事する者が、「日々の労働に対して魅力を感じているのか」、「どれほどの豊かな生活をおくっているのか」、そういった産業に生きる人間の姿を見る事によって、次世代の若者は、魅力ある人間が集うこの業界に入る事によって自分自身も魅力を実感したいと感じるであろうし、私たち自身も魅力が実感できるこの産業に対して誇りを持てるようになるのではなかろうか。まずは、今年一年、私たち一人ひとりが「あたり前の事を、あたり前に成す」事から始めましょう。そして家族や、次世代の若者に対して自信を持って語れる産業にしていこうではありませんか。

統一土曜閉所運動 キャッチフレーズ大募集

昨年の入賞作品と統一土曜閉所運動ポスター



【優秀賞】

・仕事と私事 メリハリつけよう 統一土曜閉所

【佳作】

・「休みます!」宣言高らかに 統一土曜閉所

・みんなの力が意識を変える

さあ今こそ全力で取り組もう!統一土曜閉所

・あなたのために、家族のために、
必ず休むぞ「統一土曜閉所」

日建協では、毎年6月と11月を「時短推進強化月間」としています。

時短推進強化月間では、第2土曜日を統一土曜閉所日として設定し、統一土曜閉所運動を推進しています。

統一土曜閉所運動は、運動に参加することで「休むことの大切さ」に気づいてもらい、時短意識を高揚させることを目的としています。

つきましては、組合員のみなさんから統一土曜閉所運動ポスターのキャッチフレーズを募集します。

多数のご応募をお待ちしております。

うまい
キャッチフレーズ
をたのむよ!

〆切 1月24日(木)必着

【内 容】 統一土曜閉所運動ポスター用のキャッチフレーズ

【募 集 期 間】 2008年1月24日(木)必着

【応 募 方 法】

メール、FAX、はがきのいずれも可(未発表の作品に限る)

・e-mail XBL09966@nifty.com(日建協 政策企画局 中村)

・FAX 03-5285-3879

・住所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3F

●住所、郵便番号、氏名、加盟組合名(会社名)の記載をお願いします。

※応募作品の著作権は日建協に帰属

【応 募 資 格】 日建協加盟組合の組合員及びその家族

【テ ー マ】 「統一土曜閉所」「事前準備」「連帯した取り組み」

【審 査】 (1次選考)日建協本部執行委員会にて10作品を選考

(最終選考)日建協加盟組合の委員長、書記長による全員投票

【入賞者の表彰】 優秀賞(2点)2万円相当の商品券を贈呈

佳 作(2点)5千円相当の商品券を贈呈

【入賞者の発表】 Compass3月号誌上を予定(日建協HPにも掲載予定)

※応募に際しての個人情報は、入賞者への賞品発送以外には使用しません。

建設産業で働く魅力を届けたい!

建設産業の次世代を担う学生へ、今年度も「出前講座」を開始

皆さんの周りに後輩はいますか。なかなか新入社員が入ってこなくてさびしく感じている方も多いのではないでしょうか。以前日建協が実施した学生や大学教授へのヒアリング調査では、「ゼネコンで働く具体的なイメージがわからないので不安がありゼネコンを志望しない」との声がありました。日建協では、ゼネコンの社会的役割や実体験に基づいた社員の具体的な働き方を学生に直接伝え、ゼネコンの本当の姿と、ものづくりのすばらしさを理解してもらうため、昨年度より「出前講座」を行っています(Compass771参照)。11月15日、今年度最初の出前講座を法政大学で行いました。



学生の就職に対する意識

日建協では昨年、3大学延べ53人の学生に対し「出前講座」を実施し、ゼネコンの本当の姿と、ものづくりのすばらしさを伝えてきました。

今年度は更に多くの学生を対象に出前講座を行うことに合わせ、建設系学生の就職に対する意識を広く調査するためのアンケートを行いました。

その結果、学生が就職先を選ぶ理由の一位は「仕事のやりがい」でした。(図1)また、ゼネコンを志望しない理由に43%の学生が「仕事の内容がわからない。」ことを挙げていました。(図2)つまり、ゼネコンの仕事の内容を具体的に伝え、建設産業の魅力と仕事のやりがいを感じてもらうことが学生の入職を促すために今一番必要であるという結果が確認されました。

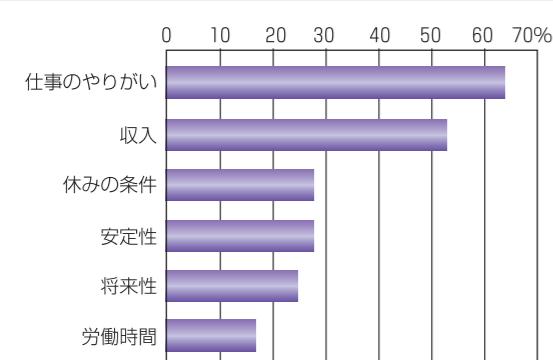


図1 就職先決定に重要視する点(複数回答)

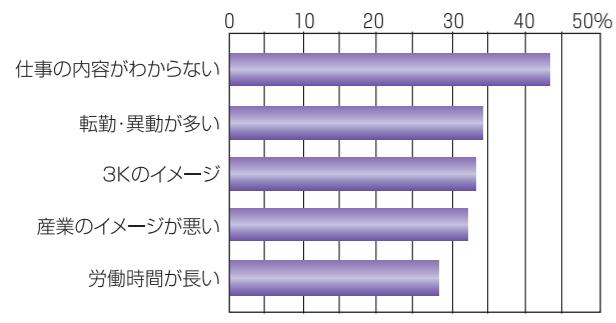


図2 ゼネコンを志望しない理由(複数回答)

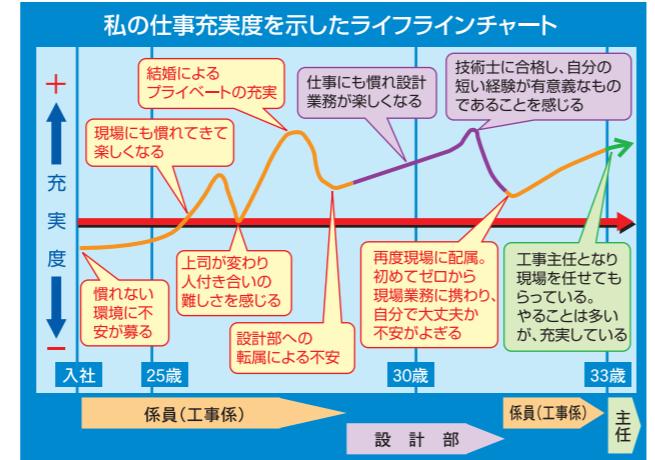
今年度の出前講座開始

11月15日、今年度最初の出前講座を、昨年に引き続き法政大学工学部都市環境デザイン工学科(東



出前講座の様子

京都小金井市)で土木系の学生に対し実施し、3回生100名(うち女性18名)の参加がありました。出前講座は企業が行う一般的な就職ガイダンスとは異なり、個々の企業への就職を勧めるのではなく、社会資本整備に携わっている建設産業の役割や技術者としての働きかたを実体験を基に直接伝えるものです。講師は日建協の役員だけでなく、建設産業の第一線で活躍されている方の生の声を伝えるため、加盟組合から講師を募集し、今回はペントユニオンの小澤さんと奥村組職組の福士さんに熱い講演をいただきました。2時間(各90分)の講義ではまず、日建協から文明社会を支えているインフラの重要性や、建設産業が担っている社会資本整備や災害復旧といった社会貢献度の高さ、自らが建設したものが仕事の成果として形となり後世に残る満足感、などについて説明しました。



続いて講師の二人には、自分がゼネコンに入社した動機や入社以来の仕事に対する充実度の変遷などについて話をしていただきました。小澤さんからは現在勤務しているシールド工事の現場を題材に、工事の目的、工事の必要性、ゼネコン職員の働き方などを、福士さんからは、これまでの自分の経験を元に、働くとはどういうことか、仕事のやりがい、現場でのゼネコン職員の働き方などを熱く伝えもらいました。受講された学生たちは全員昼食後の眠気にも負けずメモを取りながら講師の声に耳を傾けていました。また、質疑の時間には、一人の女子学生から「女性はどのような場所で活躍できるか。」という質問がありました。



小澤さん(ペントユニオン)



福士さん(奥村組職員組合)



熱心に聞き入る学生たち

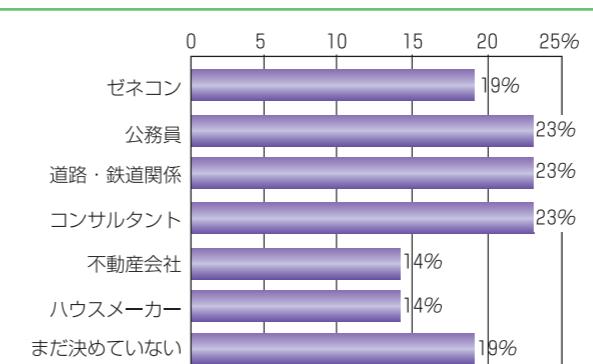


図3 受講前の志望就職先(複数回答)

学生の意識に変化あり

講義終了後には、受講前は公務員志望だった学生から「今日の講義を聞いて、ゼネコンも選択肢の一つとして考えたい。その上でゼネコンはなかなか休めないと聞くが、本当にそうなのか。」との質問があり、講義を行った効果はあったものの、学生は労働時間を入職の際に重要視している事を再確認しました。さらに、今回の学生に対するアンケートでは、受講前の「ゼネコン志望者」が19%(図3)だったのに対し、講義終了後には、「ゼネコン希望」と「ゼネコンも選択肢の一つとして考えてみたい」と回答した学生は両方合わせて53%に増えました。(図4)また、アンケートの自由筆記の中では、「ゼネコンのイメージが変わった。」「ゼネコンの仕事内容の具体的な話が聞けてためになった。」との意見があり、建設産業に対する偏ったイメージを払拭し、具体的な建設産業の働くイメージを持ってもらいました。また、ゼネコンの魅力向上に何が一番必要かとの設問には「労働時間の短縮、休日の確保」を一位に挙げており、労働環境の改善も人材確保には重要であることを再確認しました。

私たちの仲間を増やすために

日建協秋の会社訪問では、各企業から採用に苦労しているという意見を多く聞きました。さらに日建連をはじめとする業界団体も新卒者の建設業離れに危機感を感じ始め、学生との意見交換会の開催や、専門委員会を設けるなど人材確保・育成対策に本腰を入れ始めています。

日建協では、建設産業に対する偏ったイメージを払拭し、ひとりでも多くの学生に建設産業で働く素晴らしさを知つてもらうため、今後も出前講座を通して産業の魅力向上に向けた活動を実施していきます。

尚、この号が届く頃には名工大(12/13)、北大(12/14)、大工大(12/21)の3校で出前講座が開催されています。今年度の出前講座の受講生が一人でも多く再来年の春に私たちの仲間になってくれる事を目指し今後も活動していきます。

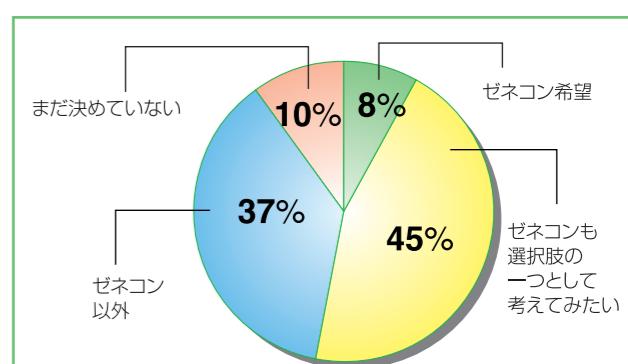


図4 講義終了後の志望就職先について

産業の真の姿を伝えたい!

～産業の魅力向上に向けて～

日建協は建設産業が社会資本整備に果たす役割について多くの方々に理解していただくために、社会資本整備に関わる他産別労働組合の方々や教職員の方々が参加する「100万人の市民現場見学会」[主催:(社)日本土木工業協会(土工協)]をこれまで6回開催してきました。

7回目となる2007年11月9日には、産業に関わる者として連合「建設・資材・林産部門連絡会」の執行委員の方々と厚生労働省の方々が参加し、8回目となる2007年11月24日には、東京都と神奈川県の高等学校で働く教職員組合の方々が参加する見学会を土工協と共に開催しました。

7回目。 産業の関係者が一体となるために!!

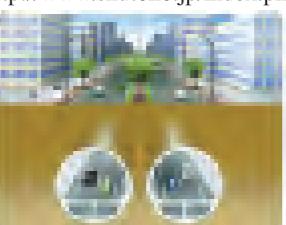
日建協が友好加盟している連合本部は、産業毎に12の連絡部会に分かれて活動しています。今回参加された「建設・資材・林産部門連絡会」は、社会資本整備に関わる、UIゼンセン同盟、情報労連、電力総連、全国一般、森林労連、建設連合、全国セメント、日林労、JAM、国公連合、日建協が構成組織として参画し、産業の魅力向上にむけて議論を進めている部会です。今回、その活動の一環として、どのように社会資本整備が行われているかを把握することを目的に見学会に参加されました。

厚生労働省 職業安定局 建設・港湾対策室は、建設労働者及び港湾労働者の雇用改善に関する事、について法律の改正等を検討する部署です。今回、現場において建設労働者がどのように働いているのか、また、社会資本整備がどのように行われているかを把握する目的で参加されました。

見学会開催概要

- ①開催場所(首都高速中央環状新宿線新宿南出入口付近)
- 前田・本間・株木建設工事共同企業体
SJ23工区(1)新宿南出入口トンネル(その2)工事
- ②参加者
 - 連合「建設・資材・林産部門連絡会」:15名
 - 厚生労働省 職業安定局 建設・港湾対策室:6名
 - 厚生労働省 政策統括官付労働関係担当参事官室:1名

<http://www.shutoko.jp/index.php>



社会資本整備で働く者の真の姿を感じてください

見学会の冒頭では、土工協の広報委員である前田建設工業(株)の柿沼昭彦執行役員土木本部土木営業統括部長より「建設工事の生の姿を間近でご覧になって、少しでも建設業という仕事をご理解願いたい」と開会の言葉がありました。続いて、青本議長は「工事現場は仮囲いの中で何が行われているのかイメージがわからないという声が多い。本日は生の現場を見ていただき、社会資本整備で働く者の真の姿を感じてほしい」と挨拶しました。



青本議長(日建協)

社会資本整備の重要性に理解

工事現場で何が行われているのか詳しく知らなかったみなさんも、地下に広がる大空間のなかで、作業所職員の方々が技術力と工夫で仕事を進めている説明を聞かれ、社会資本整備の重要性に理解を示されました。

参加者からは、「工事現場=渋滞の原因、とのイメージをもつていたが、より便利にする為の工事であることが理解でき

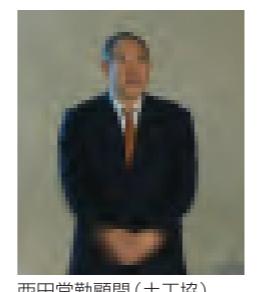


見学会の様子

た」や「地下工事は外部の者からは内容が分からず、今回の見学会をもっとPRすることが建設産業の魅力向上に繋がると思う」などの感想がありました。

見学会終了後の質疑応答では、「安全作業という観点で一番注意しているポイントは何か?」や「実際の労働時間は1日どれくらいか?」などの質問が寄せられました。

最後に、土工協の西田壽起常勤顧問は「このプロジェクトでは池袋から渋谷までの約11KMを約10



西田常勤顧問(土工協)

分で通過してしまう。しかし、その10分間にものすごい苦労がある。皆さんにより良い生活をして頂くために、良質な社会資本整備に建設産業の者が真剣に取り組んでいることを理解してもらいたい」と挨拶され、社会資本の重要性を改めて伝えられました。

8回目。建設産業の魅力を多くの先生に伝えたい!!

日建協は、子供たちの純粋な気持ちを育む立場にある教職員のみなさんに社会資本整備の重要性と建設産業の姿を正しく理解してもらうことは、「子供たちが憧れる産業づくり」に繋がる大切な一歩と考えています。昨年(2006年5月20日)の見学会に参加された東京都の高等学校で働く教職員組合の方々に、今回は神奈川県の高等学校で働く教職員組合の方々が加わり土工協と見学会を開催しました。

見学会開催概要

- ①開催場所
 - 飛島・戸田・奥村建設工事
共同企業体
小右衛門給水所1号排水地
及びポンプ棟築造工事
- ②参加者
 - 東京都高等学校教職員組合(都高教):8名
 - 神奈川県高等学校教職員組合(神高教):3名



見学会の様子

現場で体験したことを生徒たちにも伝えたい

見学会の冒頭では、都高教の書記次長より、「昨年の見学会では、トンネル内の大空間に参加者一同驚いた。本日は、私たち



数本書記次長(都高教)

に身近な飲料水に関わる施設を見学させてもらって、現場で感じたことを生徒たちにも伝えたい」との挨拶がありました。



畠山書記次長(神高教)

公共工事の必要性を理解

今回見学した給水施設は、足立区の震災時等の応急給水の拠点としての機能をもつ平成21年度の完成を目指しています。貯留量は5万m³で、足立区65万人の約4週間分の飲料水(1日当たり一人3リットル)を貯留できます。

施設完成後は貯留され2度と入ることができない大空間に、参加者からは感嘆の声がでていました。



見学会の様子

参加者からは、「都民の大切な水をしっかりと守る施設も、こうして地道な工事の上で成り立っていることをあらためて認識できました」や「普段、普通に使っているインフラについて様々な工夫と苦労を重ね、工事されていることをあらためて感じることができました」や「公共事業は、なかなかその必要性が浸透しないものだが、今回の説明を聞いて、必要な事業だと確信することができました」など、社会資本整備の重要性への理解が深まった感想が聞かれました。

見学会終了後の質疑応答では、「貯留した5万m³の水の入れ換えにどれくらいの時間を要するのか」「コンクリートは1日で最大どの程度打設するのか」「工事により地下水位への影響はあるのか」など、先生ならではの専門的な質問が多数されました。



今回行った2回の見学会より、生の現場を見てもらうことで社会資本整備の理解が高まることが再確認できました。また、現場で感じたことを、それぞれの立場で社会資本整備に対する正しい認識として伝えてもらうことで、地道ではありますが、産業のイメージアップにも繋がると考えます。

「未来に伝えたいもの」

~自分たちが造った建造物を心の中の世界遺産に登録しましょう~



川副副議長

先日、愛犬ピーチ（ミニチュアダックスフンド）と散歩をしていたら、地元（台東区）の掲示板に「未来に伝えたいもの」と題し、上野近辺のお寺めぐりを行う散策ツアーガ紹介されていました。残念ながら所用がありツアーには参加できませんでしたが、「未来に伝えたいもの」ってなんだろう？と疑問がわいてきました。そこで、職業（土木作業所に18年勤務）がらもあり、現存する建造物の中から探してみたら、世界遺産＊に関する中に伝えたいと思えるものがみつかりました。今回は、その中から私が選んだ建造物を5つ紹介します。



* 1972年のユネスコ総会で採択された「世界遺産条約」に基づいて、「世界遺産リスト」に掲載（登録）された自然や文化のことです。世界遺産リストの作成は、地球上にある素晴らしい自然や文化を、国や民族の区別無く、全地球人のものとして守り、未来に受け継ぐことを目的としています。日本国内には、法隆寺や白川郷など13件の世界遺産があります。現在、24件の世界遺産への追加登録申請を文化庁が審議しています。その内の3件が、今回紹介する、大浦天主堂、錦帶橋、碓氷川橋梁です。

世界遺産
<http://www.unesco.or.jp/>

①大浦天主堂（長崎県）。世界遺産に登録申請を検討中。

最初に紹介するのは、中高生の修学旅行や観光旅行で訪れる事でも有名な大浦天主堂（長崎市）です。長崎市は私が大学生活を4年間過ごした思い出の地でもあります。大浦天主堂を選んだ理由は、西洋のゴシック建築様式を用い造られた、日本最古（1864年）の木造ゴシック造りの教会であり、日本にいながら、西洋の雰囲気を味わえるからです。教会の特徴は、自由の象徴として、尖頭に十字架があり、内部はステンドグラスが張られ美しい内観を擁し観光客を魅了しています。



また、高台の斜面に位置し長崎湾や市街中心地を一望することができる絶景で、隣接しているグラバー園やお土産屋さんを、ブラブラ見て歩くのも結構楽しいものです。みなさんも一度、ここで西洋の雰囲気を味わって下さい。

大浦天主堂HP <http://www9.ocn.ne.jp/~oura/>

②錦帯橋（山口県）。世界遺産に登録申請を検討中。

次に紹介するのは、錦帯橋（山口県）です。私は大学で橋梁を専攻していたこともあり、景観の美しい橋を見るのが好きで、特に、アーチ橋は一番好きな形式です。錦帯橋を選んだ理由は、大好きな美しいアーチ形式の橋であること、また、橋梁技術が現在と遜色ないところです。錦帯橋は、約330年前（1673年）に造られ、他に例を見ない特異な姿の五連の反り橋が特徴です。反り橋の構造は、頑丈な組木の技法により、橋上からの圧力で更に強度が増す仕組みになっており、経間35mを無脚で渡した技術は、現在の橋梁技術からみても遜色ないものといえます。



錦川の渇水の時期は、川原を歩けます。橋の上を歩くだけでなく、川原において、橋の下からながめ、昔の土木技術者のすごさを見てみて下さい。

また、この橋の付近は、春は桜、秋は紅葉の名所となっており、四季おりおりの景観とマッチして美しい街並を呈しています。みなさん、長期休暇を利用して一度訪れ、アーチ橋の美しさを体感して下さい。

錦帯橋 <http://www.kintaikyo.jp/>

③白川郷（岐阜県）。世界遺産に登録済。

3番目に紹介するのは、すでに世界遺産に登録（1995年12月9日）されている白川郷（岐阜県）です。

白川郷を選んだ理由は、白川郷の「合掌造り」が降雪に対処することや養鶏のために小屋内の空間を広くとることを目的として、約150年前の庶民の方々が知恵を絞り考えられた合理的な建築物であるからです。「合掌造り」の特徴は、叉首構造の切妻屋根とした茅葺きの家屋で、一般的の日本の民家に比べて規模が大きく、屋根の勾配が急傾斜となっていることです。



対象となる3集落は、庄川沿いに形成された段丘面にあり、いづれも集落の歴史的景観とその周囲の自然環境が良好に保存されており、非常に心をなごませる景観美です。

白川郷はテレビでもよく登場するので、馴染が深い方や旅行に訪れた方も多いかと思います。私も含めまだ訪れていない方は、長期休暇を利用し一度訪れ、体の休息とともに、心をなごませて下さい。
白川郷 <http://www.vill.shirakawa.gifu.jp/>

④碓氷川橋梁（群馬県）。世界遺産に登録申請を検討中。

4番目に紹介するのは、碓氷川橋梁（群馬県）です。

碓氷川橋梁を選んだ理由は、全長91メートル、川底からの高さ31メートル、使用された煉瓦は約200万個にも及ぶ現存する煉瓦造りの橋の中では国内最大規模であるからです。まだ機械化が進んでいない約120年前（1893年）に建設されたことを考えると、その当時の土木技術者の知恵と英知を絞って作った、傑作の一つではないでしょうか。



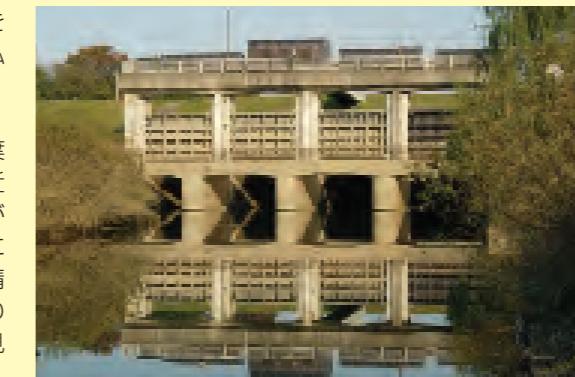
現在では、碓氷川橋梁を使用していた信越本線横川～軽井沢間（碓氷線）が北陸新幹線（長野行き新幹線）の開通にともない1997年（平成9年）9月30日に廃止されました。その後、横川駅からこの橋までの旧線跡が遊歩道となり、橋上の手すりや国道18号へ通じる階段などが整備されています。また、この橋梁とともに旧信越本線碓氷峠鉄道施設や車両等は、旧横川運転区跡地にオープンした「碓氷峠鉄道文化むら」を拠点にして保存活動が進んでいます。

みなさんの中には、鉄道ファンも多いかと思います。家族や大切な人と遊歩道を歩き、自然を感じてみませんか。そして、歩き疲れたら、「碓氷峠鉄道文化むら」で鉄道模型などで遊んで童心に戻って下さい。

碓氷峠鉄道文化むら <http://www.usuitouge.com/bunkamura/>

⑤座生川排水樋門（千葉県）。世界遺産に申請してほしい？

ここまで、世界遺産に関する建造物を4つ紹介しました。どれも甲乙つけがたいものがあります。しかし、それ以上に「ものづくり」に携わる私が「未来に伝えたい」と思うのは、やはり自分が造った建造物です。そこで、最後に紹介するのは、私が30歳の時に監理技術者として、初めて地上に残る建築物として作った座生川排水樋門です。この現場で働いている時に結婚し、初めて自分が造った現場を自慢したこともあります。私の中では「未来に伝えたい」世界遺産のトップです。



座生川排水樋門は千葉県野田市岩名にあり、付近は市街地化が進み、住宅が立ち並んでいます。近辺には清水公園があります。清水公園に行った帰りに寄り道して、私の世界遺産を見てみて下さい。

今回、誌面で紹介した他に、みなさんが存知の法隆寺や姫路城を含め12件の世界遺産が日本にはあります。一度、HPを検索し気に入った所をみつけ旅してみましょう。

また、自分で造った建造物や会社が造った建造物を家族や大切な人とたずねてみませんか。そして、私のように心の中の世界遺産に登録し、私たちが後世に残るすばらしい仕事をしていることを実感しましょう。



メンタルヘルス

～心の健康～

メンタルヘルス不全を吹き飛ばそう!!

1.メンタルヘルスについて

メンタルヘルスとは、どういうことをいうのでしょうか。メンタルヘルスとは、その言葉のとおり、「心の健康」のことです。心の健康が害されることを「メンタルヘルス不全」もしくは「心の病」などと言われていますが、こうした「心の病」の予防やケアに対する取り組みがメンタルヘルス(対策)です。

近年、メンタルヘルス不全者が増加傾向にあるとして、大きな社会問題となっています。社会経済生産性本部の調査(2006年4月実施)によると、最近3年間の「心の病」の増減傾向について、6割の企業が増加傾向にあると回答しています。

このような状況を改善するために、現在では多くの企業や組合でメンタルヘルス対策が進められています。

メンタルヘルス対策には様々な取り組みがありますが、今回はその中でもメンタルヘルス不全の予防について考えてみましょう。

(心の病について)

心の病と一言にいってもその病状は様々ですが、主に次のようなもののがあげられます。

うつ病(気分障害)・神經症(ノイローゼ)・心身症・人格障害・統合失調症 等

2.メンタルヘルス不全を誘発する過度なストレス

メンタルヘルス不全を誘発する要因は様々ありますが、一般的には過度なストレスが大きな要因とされています。私達は仕事の内容・職場・家庭・地域等の自分を取りまく全ての環境からストレスを受けています。現代社会はストレス社会と言われていますが、特に仕事や職場から受けるストレスについては、企業間の競争激化や、企業における成果主義的な人事制度の導入等を背景に、近年増加する傾向にあります。厚生労働省の調査によると、「仕事や職業生活に関して強いストレスを感じている労働者」の割合は6割にも及んでいます。(図1参照)

こうしたなか、私たちもメンタルヘルスに影響を及ぼすストレスに対して関心をもち、体の健康だけでなく心の健康についても考えしていくことが非常に重要なことです。

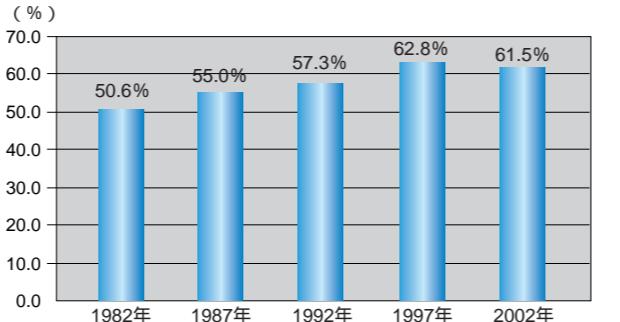
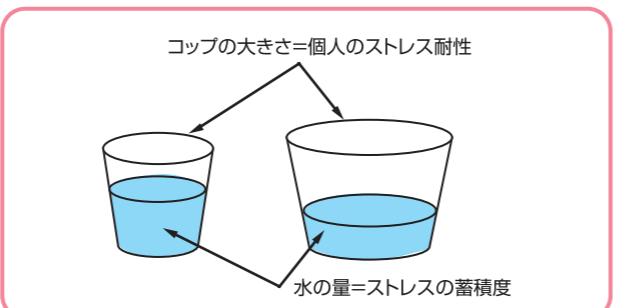


図1 仕事や職業生活に関して
強いストレスを感じている労働者の割合
資料: 厚生労働省「健康状況調査」より

3.ストレスへの耐性

ストレスは心身に悪影響を与えるばかりの悪者と思われるかもしれません、適度なストレスは持っていた方が良いのです。ストレスは何かを行う時の適度な緊張感や、やる気を出せたり、より高い場所や地位を求めて努力する心を生み出します。このように適度なストレスは私達の活力となるのです。しかし、このストレスも自分の耐性を超えるほど過度になると問題が生じることになります。下のコップの絵を見てください。



2つの大きさの違うコップがありますが、それぞれのコップの大きさが個人の持つストレスの耐性、水の量をストレスの度合

いとします。コップからあふれるほど水が溜まることでストレスが過度な状態となり心の健康を害することに繋がっていきます。同じストレスの状況下にあっても個人がストレスとして感じる度合いが異なります。つまり、個人差があるのです。

この耐性が自分にどれくらいあるのか、そしてストレスがこの耐性に対してどれくらい蓄積されているのかは、自分自身では非常にわかりにくいのです。自覚症状としてははっきりとあらわれるのは、コップから水が溢れ出した後で、かなり深刻な状態になった時だといわれています。このような状況になる前に自分の状況を知ることが大切です。

4.ストレス度チェック

ストレスの状況は自分では非常にわかりにくくお話ししましたが、簡易な分析手法として、ストレス度チェックがあります。次のストレス度チェックはその一つです。みなさんも試してみてください。

- 1. 頭が重いあるいは痛い事が多い
- 2. 目が疲れる
- 3. めまいや立ちくらみを感じる時がある
- 4. 耳なりのする事がある
- 5. 口内炎ができやすい
- 6. 肩がこる
- 7. 背中や腰が痛くなりやすい
- 8. 息苦くなったり、動悸がしたりする
- 9. 舌が白くなっていることがある
- 10. 食欲が無い
- 11. いつも胃がもたれている感じがする
- 12. 腸がはる
- 13. 下痢や便秘をすることがよくある
- 14. 手足の冷たいことが多い
- 15. 手のひらや、脇に汗をかきやすい
- 16. この頃、体重が減った
- 17. 何かとすぐに疲れる
- 18. 気持ち良く起きられないことがよくある
- 19. 寝つきが悪い
- 20. 夢をよく見る
- 21. 夜中に目が覚めた後、なかなか寝つけない
- 22. 以前ほど仕事をやる気がない、あるいは仕事がはかららない
- 23. 人と会うのがおっくう
- 24. 他の人のことが気になる
- 25. イライラすることが多い
- 26. よく風邪をひくし、長引きやすい
- 27. 集中力がなくなった
- 28. 判断力がにぶった感じがある
- 29. この頃、酒やたばこの量が増えた
- 30. 自分の自由な時間がほとんど無い

自分のストレス度は
どれぐらいだろう?

該当項目数によるストレス度
0~5:ストレスが少ない状態
6~10:軽度のストレス状態
11~20:中度のストレス状態



結果はどうですか?中度を超えるような状況であれば、かなりストレスをためすぎてメンタルヘルス不全の可能性があります。産業医など専門家への相談をお勧めします。このほかにも、インターネットで検索すると様々なストレス度チェックできます。何かいつもと違うな?と感じたときにチェックすることも、自分の状況を判断するのに有効だと思います。定期的に自分のストレス度のチェックをしてください。

5.ストレスを発散しよう!!

たまたまストレスは、発散しないといけません。みなさんは、普段やっているストレス発散法はありますか?十分な睡眠、趣味や大切な人の時間を有意義に過ごすことが有効な方法です。しかし、忙しくてそのような時間をゆっくり取ることができない人も多いと思います。そんな人も少しの時間でできるストレス発散法を実践しましょう。

ちなみに私の場合は入浴です。いろいろな種類の入浴剤を買ってきて、その日の気分次第で入浴剤を選び、目を閉じて温泉に行った気分でゆっくり湯船につかると、気分がリフレッシュします。

また、ストレスや仕事の悩みを、信頼できる人に相談することも大切です。皆さんも工夫をしながらストレスと上手に付き合っていきましょう。



6.職場の仲間のことも考えてみましょう。

仕事上のストレスについては、自分自身の力だけでは軽減できない要因が多く存在しています。加えて厚生労働省の調査によると、仕事上のストレスの要因では、職場の人間関係が最も大きなウエイトを占めています。

こうした状況を改善していくためには、職場でのコミュニケーションを充実させ、相互に信頼関係を作っていくことが重要となります。信頼関係が構築できれば、悩み事も気軽に相談できるようになります。また、相互に理解しあえることで、本人は自覚していない仲間のちょっとした日常の変化についても気づくことができるようになります。こうしたことが、メンタルヘルスの予防策として非常に効果的となるのです。

また、メンタルヘルス不全は個人のやる気や集中力を損ね、職場の生産性を著しく低下させることにもなりかねません。こうしたことの対策としても、職場の仲間のメンタルヘルスについても考え、お互いが配慮できる職場づくりを目指し、みんなで協力し合って心の健康づくりに取り組んでいきましょう。

TOPICS

日建協メンタルヘルスセミナー ~於:日本青年館(東京都新宿区)参加者56名 (2007.10.12) ~於:新大阪丸ビル新館(大阪市東淀川区)参加者40名 (2007.10.26)

ここ数年、様々なストレスでメンタルヘルス不全により就業できなくなる方が増加しています。そこでみなさんの職場にてメンタルヘルスについて理解を深めていただけるよう、講師に財団法人社会経済生産性本部メンタル・ヘルス研究所より乾先生を迎えてセミナーを東京と大阪にて開催しました。

講義内容は、メンタルヘルスの現状、ストレスについて、うつ病への対応、ラインケアなどと幅広く講義をいただき、また講義の途中で「簡易ストレス度・チェックリスト」と「傾聴力のチェックリスト」にて自己診断を行なうなど、非常に中身の濃い講義でした。

参加者からは、「メンタルヘルスは個人的な問題という考え方があった。」「心の病を無くしていくためにより良い職場環境を作っていくたい。」「人ととの会話の大変さがわかりました。」などの声が聞かれ、メンタルヘルスについて理解と知識を深めることができました。

また、今月の特集記事にてメンタルヘルスを取り上げております。



乾 智喜先生



東京会場



大阪会場

セミナーに参加できなかったみなさんもこの記事を参考に、職場のみなさんでメンタルヘルスについて、職場の健康づくりに取り組んでいくことについてなど、話あってみてはいかがでしょうか。

統一土曜閉所運動が東北ブロックの6労働局で紹介

地道な活動が実を結ぶ

東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)の6労働局では、労働時間等の設定の改善の促進を通じた仕事と生活の調和を推進するために、9月から11月までの間、集中的に「仕事と生活の調和キャンペーン」を開催し、シンポジウムの開催など社会的機運の醸成が図られました。また、そのシンポジウムにおいては、ポスター展、好事例集の配布、相談コーナーの設置等が併せて行われました。

今回宮城労働局から、東北ブロックの6労働局が独自に行なう「仕事と生活の調和シンポジウム」のポスター館で、統一土曜閉所運動を建設産業労働組合懇話会(同じ建設産業に働く労働組合の組織体:日建協、全電工労連、通建

連合、建設連合、道建労協、長谷工グループ労組)の取り組みとして紹介したいとの要請を受け、統一土曜閉所運動のポスターやリーフレットの提供を行いました。また、東北ブロック仕事と生活の調和推進会議がまとめた「仕事と生活の調和推進のための取組好事例集」(平成19年10月)に全電工労連に加盟するユアテックユニオンの統一土曜閉所運動が「上部団体と一体となった労働組合の取組」として掲載され、今後東北地区全域に広報される予定です。

このシンポジウムでの紹介を機に、東北地区のみならず他の地域へも統一土曜閉所運動が水平展開され、産業全体の運動となるように、今後もあらゆる方面へ働きかけを行なっていきます。

建設産業労働組合懇話会 第7回総会

連帯強化と運動の浸透にむけて

建設産業労働組合懇話会(産労懇)の第7回総会を開催しました。産労懇は、同じ建設産業の労働組合が組合員の労働環境の向上と建設産業の魅力化にむけて活動をしています。

第7回の総会では、懇話会の会長である青木議長(日建協)の2007年から2008年にかけての活動に対する決意表明や、前年の活動結果にもとづき、新たな活動方針を協議し、今年も連帯を強化して取り組んでいく方針が採択されました。

今年度の活動の重点項目として、産労懇全体で継続して取り組んでいる統一土曜閉所運動については、これまで以上に産労懇内の運動に対する意識を向上させていくための具体的な活動を検討し実行に移すことや、それぞれの組織で開催するセミナーや研修会をつうじた人的交流を活発に行っていくことの提案がありました。

また、それぞれの組織における今年度の活動方針や、これまでの活動結果を発表し、建設産業の仲間の活動を理解するとともに、協力関

(2007.12.5) Topics



総会開催風景

係を今後も強めていくことで、産業全体の向上につなげるためにも定期的な運営委員会の開催が重要であるとの共通認識を確認しました。

日建協では統一土曜閉所運動や賃金交渉の情報交換にとどまらず、産業政策の力を一層強めていくために、産労懇のつながりを大切にし、新たな活動の展開を求めていきたいと思います。

今年度も科学技術館ライブショーにゲスト出演 ~於:科学技術館(千代田区北の丸公園) (2007.11.24) Topics

家族連れに「建設のしごと」をわかりやすく紹介

科学技術館で開催された科学ライブショー「ユニバース」にゲスト出演し、「暮らしをささえる建設のしごと」と題して、小中学生を中心とした家族連れを対象に、社会資本整備の大切さと建設の仕事を紹介する講演を行ないました。科学ライブショーは、科学技術館で毎週土曜日の午後に2回開催されている常設ショーで、今年の1月13日に引き続き、日建協では2回目の出演となりました。

講演では、「鉄道、空港、水道などがない世界は?」について見学者と一緒に考え、建設の仕事が日々の便利な生活を支える「無くてはならないもの」であることを、子供達が大好きな新型新幹線やポケモンジェットの写真を織り交ぜながら、わかりやすく楽しく説明しました。他にも日頃にすることのない地下に造られている防災設備の紹介映像を見せながら、災害大国日本ならではの防災施設の大切さと、それを造っている建設産業の役割を説明しました。

会場には、2回のショーで親子連れを中心に130人ほどの来客があり、普段見ることのない関東周辺の防災施設の紹介映像などを興味深く見入っていました。また、ライブショー終了後のアンケートでは、「今後も、いろいろ日本のすばらしいところを子どもたちに教えて欲しい。」



ライブショー会場

「勉強になるお話しで、小1の息子も興味深く聞いていました。」「地下の構造物がすごかった。」など、家族そろって建設産業に対して関心を持っていただけたようでした。

また科学技術館からは今後も定期的なゲスト出演を依頼されており、次回ユニバースへのゲスト出演は春頃になる予定です。

科学ライブショー「ユニバース」HP <http://universe.chimons.org/jst/>

海外の労働組合との交流だより

(デンマーク使節団 2007.11.16) (オランダ使節団 2007.11.20) (ドイツ使節団 2007.12.4) Topics

日建協が参加しているBWI-JAC(国際建設林産労働組合連盟 日本協議会)の活動の一環で海外の労働組合との意見交換会に臨みました。オランダおよびデンマークからの使節団は共に、それぞれの国の建設関連の職業別労働組合であり、同組合に所属する労働者側に加えて雇用者側の方々も交えての「技能者の職業訓練・教育制度のあり方」をテーマとした意見交換となりました。この意見交換を通じて、OJT等により企業活動の内部で従業員の習熟を図っていくうとする日本のあり方とは異なり、職業別労働組合が雇用者と対等に手を取り合いながら政策力を発揮していくことにより、人材の育成・教育の効用を維持していくうとする諸外国の現状を実感することができました。

また、ドイツからは建設関連の職業別労働組合に所属している国会議員の方々を招いての意見交換となりました。主なテーマは「環境に配慮した企業活動の中での労働組合の関わり方」についてです。日本においても、昨今、CSR(企業の社会的責任)等の取り組みにより環境に配慮した企業活動で企業価値を高めていく潮流が芽生えていますが、ドイツでは企業価値向上としてではなく、一企業の本業とは完全に分離した形で環境の持続可能性に貢献していくうとする理念が通常とされており、生態系や社会の中での企業活動の位置付け方やあり方に相違が感じられました。建設産業の魅力についてはオランダ、デンマーク、



デンマーク使節団



オランダ使節団

ドイツ共々低く、日本と同様に魅力向上に取り組んでいます。意見交換会の場において、日本の建設産業の魅力化に向けて日建協が実施している「出前講座」の取組内容や、その効用について紹介した結果、ユニークなアプローチであり大変興味深いとの関心が寄せられました。

世界基準と日本基準の相違という観点から、日建協が進める労働環境改善への取り組み姿勢を見つめなおす良いきっかけになったと考えます。

加盟組合交流日誌

Exchange diary of affiliate unions

ハザマユニオン

自分たちで出来ることを考え、行動に移す

支部代表者会議勉強会

(2007.10.20)

ハザマユニオンの支部代表者会議に先立ち、谷口委員長はじめ25名の支部代表者参加による勉強会が開催され、建設産業における課題解決にむけた提言活動について説明した後、意見交換を行いました。

提言「公共工事における無報酬業務を解消するために」に対して、問題の解消に向けて国交省が取り組んでいる対策が適正に運用されるためには、まず自分が対策を理解し、活用することが必要であること、その上で運用上の問題点を抽出し現場の声として日建協へ上げることが、無報酬業務の解消に向けた次のステップになることを参加者に理解していただきました。

提言「民間建築工事の『4週8休を含む不稼働日を考慮した工期設定』の実現に向けて」については、参加者からの「提言先として、行政や産業の関係者だけでなく、広く一般の方々に知ってもらう事も必要。」との意見に対し、「私たち日建協加盟組合の約3万8千人の仲間が、家族や周囲の方々と休む事の大切さについて話すことで、その第一歩となるのではないか。」と呼び掛けました。



支部代表者の皆さん

勉強会の最後には、谷口委員長より、「私たちのより良いワークライフバランスの実現に向けて、いま自分たちで出来ることは何かを考え、行動に移すことが必要である。」との言葉があり、参加者全員が提言活動の重要性について認識しました。

日建協では、このような勉強会を通して、日建協活動の紹介や、理解を深める活動を今後も展開していきます。

横河工事労働組合

時短推進への強い意志

時短推進活動勉強会

(2007.11.22)

横河労組のワーキング会議（賃金・退職金ワーキングと業務・福利ワーキング）が行われ、その機会を利用して、他単組の時短推進活動の好事例を紹介してもらいたいとの要望があり、時短勉強会を開催しました。

日建協もオブザーバーとして参加させてもらったワーキング会議は全国の一般組合員の中から選ばれたワーキングメンバーで構成され、自分たちの労働環境改善にむけて賃金交渉の要求額や、時間外労働の実態等について積極的な議論が交わされていました。横河労組の組合員の連帯意識の高さを認識させてもらいました。

私たちの組合活動のエネルギー源は、言うまでもなく組合員一人ひとりの「声」であり、「思い」です。横河労組で行われている一般組合員参加のワーキング会議は、このエネルギーを直接吸収する事のできる有効な活動であり、組合員が一丸となって「考え」「行動する」ために、他単組でも参考にしていただければと思います。

他単組の時短推進活動の事例紹介に対しては、運用方法や時短の効果、取り組みの問題点についてなど具体的



勉強会の様子

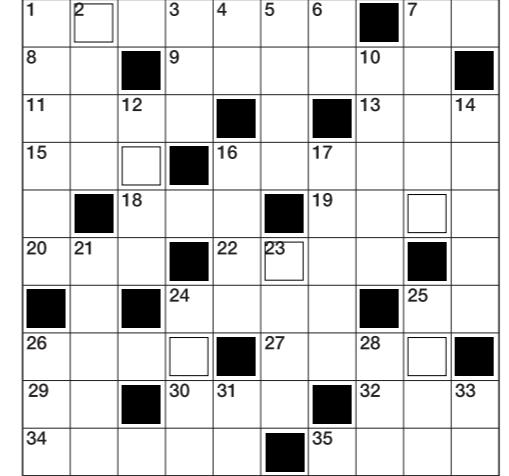
な質問が出され、他単組の事例を今後の自単組の時短活動に積極的に活かしていくたいという強い意志を感じられました。これからも、日建協では、加盟組合のみならず広く時短推進活動の事例収集を行い加盟組合に水平展開していきたいと思っています。

クロスワードタイム

2008年のスタートです！ 2007年がいい年だった人もそうでなかった人も気分一新。
どうぞ正月気分でクロスワードにチャレンジしてください！ 二重枠の言葉を並び替えると答えが出ます。

■〆切：1月31日(木) ■宛先：〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 守山ビル3階 日建協クロスワード係 (Mailはこちらへ nikkenkyo@nifty.com)

ヒント：人生に一度きり。
いい思い出にしたいですね。



ヨコのカギ

- 煮しめ・ごまめ・きんとん・かまぼこ・数の子・なますなど
- ユニークなCMが話題になりました。
- 和歌山の種なし〇〇
- ブナ科常緑高木。実はどんぐりになり、食用。
- 人々を救済するため、土中に埋もれるなどして、瞑想状態のまま絶命した僧
- 蒸し〇〇〇〇・練り〇〇〇〇・水〇〇〇〇
- 元はギリシャ語、混沌と訳されることが多い
- 気が弱く、人前では、はきはきしない性格
- 会合の席や集会で、祝意や謝意などを述べるために用意する文章
- 旅館や料亭などで客の接待をする女性
- 真っ赤におこった炭火
- 秋の日は〇〇〇落とし
- 物事を巧みになしらう生まれつきの能力
- 親に向かって何という〇〇〇〇だ。
- 〇〇をねぎらう
- 連用すると中毒を起こすので、麻薬に指定されている
- 北海道、秋に産卵のため川をのぼってくるサケ
- お客様の〇〇がいい
- 肩からひじまでの部分。二の腕。
- サルトルの小説
- 燃料が気体の小型の炉。炊事にもちいられる。
- 〇〇〇〇リトルツインスターズ。

- とっても仲良しの姉弟キャラクターです。

タテのカギ

- もういくつねると……♪
- 「海象」「海馬」
- 住んでいた村を離れ、他の地に住むこと。
- あまりないと、嫌われるかもしれません。
- 晩春の宵に南中する星座。アルクトゥルスは0等星で〇〇〇〇座。
- 1割の100分の1はイチ〇〇。
- 削って料理にかけたり、だしを取ったりして用いる
- 格好の悪いこと
- 海のミルクと言われる〇〇と野菜を使った鍋料理。
- ほんのわずかな時間
- 家庭円満。〇〇〇〇家
- 赤とんぼ止まっているよ……♪
- カラス科の鳥。全長38センチくらい。頭・翼・尾が瑠璃色のほかは栗色。奄美大島と徳之島にのみ分布し、天然記念物。
- 原始的なトカゲで、尾が長く、全長1~2メートル。背に刃状の突起をもつ。
- 米英ではサン、日本では〇〇〇〇を押します。
- 路地をはいり込んだ、表通りに面していない所
- 鈴鹿山脈西麓にある忍者の里
- 日建協の加盟組合は、〇〇〇あすなろ職組
- 赤、青、黄、緑など
- ネコ科のは乳類だが、酔っぱらいの事を言うこともある

No.774クロスワード 正解と当選

答えは「外食の日（ガイショクノヒ）」でした。

たくさんのご応募ありがとうございました。前回号にぐらべ、WEB版からの応募が増えています。是非とも周りの仲間にCompassを見ていただけるよう宣伝してください。次の方が当選されたので、追ってクオカードをお送りします。

大岡政朗(アヌマ)、横井勝己・野口直子(安藤)、菊地利夫・松井純行(奥村)、宮本正典(小田急)、田中久美子・柴原美郷(鴻池)、中坪裕美(国土)、長谷川豊・田京昌(大豊)桜井博子・小林文和(鉄建)、島内和典(東洋)中田実(戸田)、高橋義弘(飛島)、森下優子(中山)、山口斉・大道将史・木下てる美(西松)、福田浩司(野村)、渡部昭司(ハザマ)、毛島和子(ピース三菱)、中村真紀(フジタ)、安井敏夫(松村)、田中健次(馬淵)、山口久美子(丸彦)、大西健文・椎野武幸(三井住友)、松川武靖(名工) <敬称略>



編集後記

い議論を交わしながら誌面をつくりこんでいます。また、極力みなさん の要望に沿った情報を提供することを心がけており、今月号で取り上げた「メンタルヘルス」については、モニターの方からのリクエストも多く、今後は各単組での取り組みの重要度もさらに増すものと考え特集を設けました。

労働環境の改善と建設産業の魅力度化にむけ、みなさんとともに考え、行動し、Compassを通してキャッチボールができればと考えています。今後も日建協のさまざまな活動をより分かりやすくタイムリーにお伝えできるよう、誌面づくりに工夫を凝らしていきます。Compassの誌面について、また日建協活動についてお気づきの点、ご意見等ございましたらお気軽に日建協本部までご連絡ください。

おはようございます

2008年明けましておめでとうございます。今年は子年、十二支の中でスタートの年です。

十二支にまつわる有名な昔話には、元旦の朝に挨拶に来るようとの神様の御触れに、勤勉な牛の背中に乗っかって一番乗りを果たした利口なネズミをはじめとする十二の動物の他に、ネズミに騙されてしまい十二支から外れた猫も登場します。騙された猫がそれからネズミを追い回すようになったとされているお話をですが、一日間連れて到着した猫は神様に「顔を洗って出直して来い！」と叱られ、四六時顔を洗うようになったというこぼれ話もあるそうです。いずれにせよ日本では残念ながら十二支から外れてしまった猫ですが、十二支の動物は国によって若干の違いがあります。

タイやベトナムではウサギに代わって猫がしっかりとその座を射止めているそうです。

十二支は縁起物としてもあがめられており、全国各地の神社やお寺、公園などあらゆるところで目にしますが、神戸の南京町ではいままだ来ぬ順番を待つパンダを含めた十三支の石像が置かれています。

しかし、起源とされる本家の中国の十二支にもパンダは見あたらないのですが！？さて、ここ日本では昨年末をもって年男・年女を終えたわれら亥年生まれが、猫にもパンダにもバトンタッチすることなく(?)規則正しく子年を迎えるました。

子年は繁榮の年ともいわれます。

今年こそ建設産業が繁栄のきっかけをつかむ

年になることを願い、明るく、元気よく、

ともに頑張りましょう！

(与一)

思い描く未来をこの手につかもう!

佐藤工業職員組合

トンネルの佐藤として知られる名門の歴史は古く、創業は幕末の1862(文久2)年まで遡ります。初代佐藤助九郎氏が富山県柳瀬村で佐藤組を興し、今年で創業145年になります。1931年に現在の会社組織となり、佐藤工業株式会社として設立されました。

以来、吉村昭氏の作品「高熱隧道」に紹介されている黒部第三発電所建設にあたっての隧道工事をはじめとする数々の大型土木工事、建築工事を施工しています。

組合事務所は東京の日本橋にあり、近くには日本銀行本店や老舗の百貨店などが立ち並ぶ高級感あふれる町並の中へ取材に赴きました。

- 設立: 1948年(60周年を迎えます)
- 執行委員数: 10名(うち常任執行委員3名)
- 組合員数: 862名(2007年11月現在)
- 支部数: 7支部(札幌、東北、首都圏、北陸、名古屋、大阪、九州)
- 執行委員会: 常任執行委員会は月2回、執行委員会は月に1回開催

組合のスローガンがありましたら、教えてください。

今年度は「さあ、実行の時。声を結集し、困難に立ち向かい、思い描く未来をこの手につかもう!」です。我々組合員の将来はどうなるかは、まさに組合員次第であり、今ままの考え方、やり方では、決して今まで以上になる事はできないと思います。組合員自らの意識を変えることで会社が変わり、そしてなりたい自分になる事ができるものと考えています。



伊藤委員長

組合として現在特に力を入れて取り組んでいる、また取り組みたいと考えている課題や目標があつたら教えてください。

会社が更生手続期間中であり、賃金交渉などの組合活動がどうしても制約を受ける中で、組合活動をいかに盛り上げていくかが難しい問題です。今年度は、今までなかなか組合活動に参加できなかった作業所配属の組合員の声を聞くために、作業所に対する支部ヒアリング活動を復活させました。今後もより多くの組合員の意見を収集し、今年度後半の活動にも反映させていく考えです。また、更生手続の終結前から、会社と賃金水準の見直しの協議を始めることにしていますが、組合内部の意思統一をはかり、早急に協議を開始したいと考えています。

組合員からの意見で、気になっていることはありますか?

今年1月から人事制度が大幅に改定され、その制度のもとで人事評価、給与改定等が行われています。組合員からも意識調査アンケートやヒアリングの席で、これまで以上に適正な運用を求める声が多く聞かれました。そういう声を会社にも伝えて、制度が適正に運用されるよう、また、より良い制度になるよう、協議を進めていきたいと考えています。

組合執行部から、組合員に望むことはなんでしょうか?

今年度のスローガンにもありますが、賛成でも反対でも良いので、とにかく自分たちの意見を発してほしいと思います。執行部としては、そういった声が組合活動の強い後押しとなります。あきらめてしまったら何も変わりません。どうかよろしくお願ひします。



長澤書記長

日建協に加盟していて、よかったですと感じる点は?

日建協が提供してくれる様々なデータは、会社に対する発言の支えになりますし、日建協加盟組合と横のつながりを持つことで、会社と対等に交渉ができます。また、少人数の組合執行部のため、どうしても情報不足になってしまいがちです。

で、他の日建協加盟組合の様々な制度や、組合活動の情報など大変参考になります。

最後に、組合員のみなさんにメッセージをお願いします。

組合員の減少、抑えられた給与、さらに組合費の削減延長など、組合活動の活性化どころではない状態が長く続いています。このままでは活動の弱体化がさらに進む恐れがあり、業績の回復、組合員の増加、給与の上昇、そして組合活動の活発化などのストーリーを考える事自体、困難な状況となっています。スローガンにあるように、組合本部としても、今までのやり方を改め、受身の姿勢から攻めの姿勢へ方向転換する時期と考えています。組合員のみなさんは自らの声を、希望を、思いを寄せていただければと思います。



松井副委員長

伊藤委員長、松井副委員長は昭和60年の同期入社とのことです。建築、土木と職種の違いこそあれ、建設産業の隆盛期と、その後の苦難をともに経験してきたなかで培われた強い結束を感じました。笑顔の絶えない、気配りの細やかな長澤書記長を含めた三名でチームワークよくまとまつた執行部だという印象を受けました。また、会話の節々に、組合員みんなのためにという意識を非常に強く持たれていることを感じましたが、取材中も私が加盟組合の事例を交えてお話ししている間に、気が付けばみなさんが熱心にメモを取っていた様子も印象的でした。お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。



左から松井副委員長、宮澤さん、伊藤委員長、長澤書記長